

はじめに

栃木県立図書館では、とちぎの“知”の拠点として、目指すべき図書館像（①“とちぎ”のことなら何でもわかる図書館、②県内図書館をリードする中核的図書館、③県民の課題解決のための図書館）の実現に向けて、栃木県に関する資料（地域資料）をはじめ貴重な図書資料を積極的に収集し、県民の皆様に提供するとともに、後世に伝えるべき貴重な知的財産として永年保存に努めているところです。

特に、“とちぎ”のことなら何でもわかる図書館を目指して、栃木県に関する印刷物や視聴覚資料などの多様な地域資料を重点的かつ網羅的に収集し、そして「栃木県に関わる情報の総合窓口」として県民の皆様への積極的な情報発信に努め、地域資料・情報の利活用を図っています。

このような取組の一環として、当館がこれまで収集保存してきた貴重なコレクションを活用し、県民の皆様が栃木県についてより一層知識を深めていただければと考え、本年3月に「栃書類従 県民がよく使う栃木県の地域資料リスト」を作成したところです。

また、8月からは、資料保存のために代替物を提供した方が望ましいと判断しデジタル画像化した貴重な資料のうち、インターネット上での公開が可能な資料を「県立図書館デジタルコレクション」として当館のホームページで公開しております。

この度、「栃書類従 県民がよく使う栃木県の地域資料リスト」の続編として、本書「続 栃書類従 県民がよく使う栃木県の地域資料リスト」を作成しました。これは、当館で利用者の皆様によく貸し出されている資料や職員が栃木県に関する調べもの（＝調査相談・レファレンス）において、使用することの多い資料について、「栃木県立図書館郷土資料分類表」に基づく分類のリストを作成し、各資料の概要を紹介したもののです。

続編である今回は、前編以降の「社会科学」・「自然科学」・「技術」・「産業」・「芸術」・「言語」・「文学」の7分類のリストを作成しました。

「社会科学」は栃木県の行政や教育・民話等、「自然科学」は栃木県の自然や医学に関する資料、「技術」は栃木県の河川や歴史的建築物・足尾銅山・郷土料理に関する資料、「産業」は栃木県の産業及び交通に関する資料、「芸術」は栃木県の美術・文化財・音楽・スポーツに関する資料、「言語」は栃木県の方言、そして「文学」は栃木県の文学史・ゆかりの小説等を掲載しています。

本書が、前編と同様に、栃木県に関する調査研究の一助になりますとともに、当館の資料をなお一層ご利用いただけ契機となれば幸いです。

平成28年12月

栃木県立図書館